

★あなたもさいたま市教組へ
思いを声に！願いを要求に！

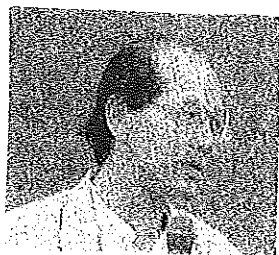
さいたま市教組第一回定期大会開かる！

六月十六日(土)、歴史的な一ページが開かれました。『さいたま市教職員組合』第一回定期大会が、与野コミユニティセンターで開催されました。大ホールを埋める人・人・人。熱気と活気あふれる大会となりました。「埼教組大会に負けない盛り上がり」の中、今年度の活動方針・予算等が採択されました。



人数に圧倒、思わずマイクを！

こんなにいっぱい仲間たちが...! "勇気とエネルギーがわいてきました"



与野南中 安島文男さん

こんなに多くの参加者に圧倒され、思わずマイクを握ってしまいました。さいたま市長選に当選した相川氏は、「30人学級」を公約した。文字通りぜひ実現してほしい。千葉・浦安市長も同じ公約を掲げて当選したが、TTT加配を解消し、小人教員級の能力別、習熟度別学級編成へと進んでいった。30人学級実現に向けたとりくみを強めていきたい。

大きくなっても細やかなら、

つらなつらな！



大宮大谷小 浦本和隆さん

大宮地区のある小学校の女性教師は、子どもが病気で年休を取ろうとした時、管理職に「学級の子どものはどうなるの？」「年休は取らせない。」と校長に突っぱねられた。組合員や執行部も入って相談にのり、管理職問題の情宣を作り、届ける。その後、私が分会訪問したら歓迎されました。

「黙ってはいけません！」大きくなっても、細やかに、ていねいに運動を進めていきたい。

浦和地区の人事闘争について



浦和大東小 高橋 博さん

市内を4ブロックに分けて、打診についてもブロック名で行っています。市教委とは、「本人の意向を十分配慮する」と交渉で確認して進めてきました。希望については特記事項欄に書いて意向を伝えていきます。市教委もそこに書かれていることを尊重する意向を表明しました。ねばり強い交渉を通して、8割以上の組合員の希望が実現しました。引き続き、広域人事をさせないとりくみを進めていきたい。

「小一を30人学級に！」

具体的に取組もう！



与野上落合小 渡辺 隼さん

低学年が荒れています。「指導力不足」で悩みます。しかし、実は「指導力」ではなくて、一クラス40人近い一・二年生だと、「もぐらたたき」になってしまう。具体的に「小一を30人学級に！」というとりくみを進めていきたい。一般的に要求すると、TTTや能力別になってしまう危険がある。

「食べるじゃは生きたるじゃ！」

大きな組織・力がかんばってどう！



大宮芝川小 富田裕子さん

少数分会で、こんなに多くの組合員に会えてうれしい。大宮の中学校給食はやっぱひどい。おかずは冷たいし、育ち盛りの中学生なのにもすごく残るんです。この十年来、市民運動として署名を積み重ねてきた。昨年末、大宮の教育長の「食缶方式にする」という突然の発言も、こうした運動の高揚が背景にあったからです。このところ「さいたま市になってから...」という回答ばかりで先が見えない。大きな組合員になって、さらにがんばっていききたい。

《大会発言集は次号にも引き続き掲載します。》

感激